古文問題の解き方［例題］24～26ページで学習したことを踏まえ、次の三つのポイントに着目して古文を読んでみよう。

＊の①＊＜1、をやきて②くひける＜2に、③きはめたるりの人にて、餅を持ちながら、ふたふたと眠りけるに、④まへに⑤と⑥いふ＊のありけるが、僧正の眠りて⑦うなづくを、われにこの餅くへとＡあるぞとＢ心得て、走りよりて手に持ちたる餅を取りてくひてけり。僧正Ｃおどろきてのち、「ここに持ちたりつる餅は。」と⑧たづねられければ、江次郎、「その餅は、はやくへとひつれば、たべ候ひぬ。」と⑨こたへけり。僧正、のことなりと＜3て、に語りて⑩わらひけるとぞ。

（『古今著聞集』巻十八）

（注）

＊醍醐―醍醐寺のこと。今の京都市区にある。

＊大僧正―朝廷から任命される僧の最高位。

＊恪勤者―寺院などで雑役をする侍。

［1］仮名づかい

問1　――線部①～⑩を、現代仮名づかいに直してひらがなで書きなさい。（1点×10）

①＝（　　　　　　　）　　②＝（　　　　　　　）　　③＝（　　　　　　　）

④＝（　　　　　　　）　　⑤＝（　　　　　　　）　　⑥＝（　　　　　　　）

⑦＝（　　　　　　　）　　⑧＝（　　　　　　　）　　⑨＝（　　　　　　　）

⑩＝（　　　　　　　）

［2］語法・文法

問2　＜印123に省略されている語を補いなさい。（1点×3）

1　実賢が主語となるから、主語を支える助詞が入る。　　　　　　　（　　　　　）

2　「食べた」＋「に」（時間を表す助詞）の間をつなぐ名詞が入る。 （　　　　　）

3　「――と」と「て」の間に動詞が入る。　　　　　　　　　　　　（　　　　　）

［3］単語の意味

問3　――線部Ａ～Ｃの意味を次のうちから選び、記号で答えなさい。

Ａ　ア　景色　　　　イ　　　　　ウ　気分　　　　エ　機嫌

Ｂ　ア　間違って　　イ　期待して　　ウ　判断して　　エ　心を読んで

Ｃ　ア　びっくりして　　イ　わけがわからなくて

ウ　こわくなって　　エ目が覚めて

Ａ＝（　　　　）　Ｂ＝（　　　　）　Ｃ＝（　　　　）

【解答】

［1］①だいそうじょう　②くい　③きわめたる　④まえ　⑤ごうじろう

⑥いう　⑦うなずく　⑧たずね　⑨こたえ　⑩わらい　　1点×10

［2］　1＝が　　2＝時　　3＝思っ　　1点×3

［3］　Ａ＝イ　　Ｂ＝ウ　　Ｃ＝エ　　1点×3

◆現代語訳

寺のが、を焼いて食べた時に、なんともよく居眠りをする人で、餅を（手に）持ちながら、体をゆらゆらさせて眠っていたところ、（その）前にという（こまごまとした雑多な仕事）をする侍がいたが、僧正がこっくりこっくり眠る様子を（見て、これは）私にこの餅を食べろと（いう）だなと（ひとり）判断をして、（江次郎は）走りよって（僧正が）手に持っている餅をとって食べてしまった。僧正は目が覚めたあとに、「ここに持っていた餅は（どうしたのだ）。」とご質問なさったので、江次郎は、「その餅は、（僧正様が私に）さっさと食べなさい、とのことでございましたので、食べてしまいました。」と返答した。僧正は、おもしろいことだと思って、いろいろな人に話しては笑ったということである。